

# 川崎市視覚障害者情報文化センター 2023 年度事業計画

川崎市内の視覚障害者のQOL(生活の質)の向上を目指し、市内全域にサービスを展開する。

## 重点項目

- (1) 利用者が安心して来所できるように、川崎市のガイドラインに準拠した新型コロナウイルス感染予防対策を実施し事業運営を行う。
- (2) 相談・訓練については、ここ数年、長期的な訓練よりも短期的な相談ニーズが強い。そのニーズに合わせてスポット的な要望に積極的に応えていく。また、市内全域にスピード感を持って対応できるよう努める。
- (3) 見えづらくなった人が早期にセンターとつながるよう、市内眼科医院、障害者相談支援センター、リハビリテーションセンターなどの地域資源との連携を図る。
- (4) 図書館事業、訓練事業、用具事業を合わせてもつ強みを活かしサービスを行う。
- (5) 利用者の趣向に加え、川崎らしさの視点を加えた資料製作、資料提供を行なう。
- (6) ボランティアの養成に努め、質の高い資料製作・音声ガイドの製作を進める。
- (7) 音声ガイド付きDVD 映画体験上映会、ヨガ教室、れきおんクラブ、図書利用者交流会、コンサートなどの文化的イベントを開催する。
- (8) 出張イベントを川崎市北部、中部地域で開催し、センターに来ることが困難な人にも参加してもらえるようにする。
- (9) 読書バリアフリー法施行に伴う公共図書館の障害者サービス推進の動きに積極的に協力する。
- (10) 災害に備え飲料水や食料などを計画的に備蓄するなど、防災・減災の対策を進める。

## 計画

- (1) 資料の閲覧・貸出
  - ① 約 800 人(個人・団体)の利用登録者に対し、点字図書は年間 300 タイトル、録音図書はシネマ・デージーを含め年間 9,910 タイトルの提供を目指す。
  - ② ダウンロードサービスにより点字・録音合わせて年間 3,010 タイトルの提供を目指す。また、デージーオンラインを使用して 300 タイトルの提供を目指す。
  - ③ 点字雑誌は年間 200 タイトル、録音雑誌は年間 4,000 タイトルを提供し、総貸出数 17,830 件を提供する。
- (2) 資料製作  
利用者の趣向に加え、川崎らしさの視点を加えた図書選定・映画選定を行い、点字図書を年間 40 タイトル、録音図書を年間 80 タイトル、シネマ・デージーを年間 20 タイトル製作する。
- (3) 点訳者、音訳者、音声ガイド製作者の養成

- ① 2023年度は、音訳者養成講座を実施する。また、活動中の点訳者、音訳者を対象としたスキルアップのための研修会・相談会を開催する。
  - ② 映画の音声ガイド製作ボランティアのスキルアップのため、製作過程において必要な指導を行う。
- (4) 訓練事業の取り組み
- ① 2022年度からの訓練継続者を含め、45名に歩行、生活、コミュニケーションなどの各種訓練を450回行う。
  - ② 訪問指導や来所指導といった短期間での訓練指導、生活用具・各種機器の操作指導などを延べ550回実施する。
  - ③ 最新機器体験会など、機器に触れて体験できる機会を提供する。
- (5) 視覚障害者用具の展示と斡旋
- ① 視覚障害者のための日常生活用具と便利グッズ、最新機器などを展示し、斡旋販売を行う。また、補装具・日常生活用具の制度や申請の方法を積極的に周知していく。
  - ② 訓練担当と連携を密にし、訓練生に様々な用具を紹介することでQOL(生活の質)の向上を図っていく。また、合わせて図書の利用にも繋げていく。
- (6) ボランティアとの連携・協力
- ① 点字図書、録音図書、テキストデイジー図書、音声ガイドをボランティアの協力を得て、製作する。
  - ② 市内ボランティア団体との連携を図る。
- (7) 啓発普及について
- ① 新刊情報誌「ぶっくがいど」(偶数月発行)に加え、メールマガジン(月2回)、音声版メールマガジン(奇数月発行)、ホームページで最新の情報をいち早く伝えるなど、広報活動に積極的に取り組んでいく。
  - ② 当センターへの理解を深めてもらうために、各区の高齢・障害担当、病院、地域包括支援センター、障害者相談支援センターなどを対象とした事業説明会を開催する。また、要望に応じて出張説明会を開催する。
  - ③ 小中学校で行われる視覚障害啓発授業への講師派遣に協力する。
  - ④ 見えづらくなった方が、センターに早期につながるができるよう地域の眼科病院と連携を深めていく。
- (8) 読書バリアフリー法施行に伴い、視覚障害者等が公共図書館を円滑に利用できるよう障害者サービスが推進されることが予想される。公共図書館のそのような動きには積極的に協力し、利用に関する情報提供を行う。
- (9) 文化的事業を開催する。
- ① 毎回多数の来場者のある音声ガイド付きDVD映画体験上映会(毎月開催)を土曜以外の平日にも開催し、より多くの方が楽しめるようにする。
  - ② 図書を通して利用者同士が交流できるイベントを企画し開催する。(年2回)
  - ③ 感染予防に配慮した上で、ヨガの教室を毎月1回(2クラス)開催する。

(2月、8月を除く)

また、麻生区、高津区において出張ヨガ教室を各2回開催する。

- ④ 「れきおんクラブ」(奇数月開催)、「CDで聴くクラシック音楽講座」(偶数月開催)、音楽コンサート・落語会などのイベントを開催する。

(10) 感染予防、防災、減災対策の推進

- ① 川崎市のガイドラインに準拠した感染予防対策を実施し、利用者が安心して来所できるようにする。また、人が集まるセミナーやイベントを開催する際は、体温・体調をチェックし、会場内の換気に注意する。
- ② 発災時にセンター内にいる利用者、支援者、職員の安全、安心を確保するため、定期的に防災訓練を行う。
- ③ 川崎区近隣の避難場所や給水地点の確認、川崎区の災害情報などを入手し、平時から災害に備える。
- ④ 感染予防、災害に備え、マスク、除菌液、飲料水、非常食などの衛生用品・防災用品を計画的に備蓄する。

参 考

2023年度(計画)

(1) 資料の閲覧・貸出

- ① 利用登録者数 500名  
(内 新規登録者数) 20名
- ② 利用登録団体 300施設
- ③ 点字図書の蔵書数および貸出・提供
- |              |           |
|--------------|-----------|
| 蔵書数 (タイトル)   | 3,540タイトル |
| (冊数)         | 13,100冊   |
| 蔵書数の変化 (新収書) | 70タイトル    |
|              | 250冊      |
| 貸出数 点字図書     | 300タイトル   |
|              | 900冊      |
| (内 他館借受)     | (50タイトル)  |
|              | (100冊)    |
| 点字雑誌         | 200タイトル   |
- ④ 録音図書の蔵書数および貸出・提供
- |                  |           |
|------------------|-----------|
| (ア) 蔵書数 (タイトル)   | 6,700タイトル |
| (枚数)             | 6,700枚    |
| (イ) 蔵書数の変化 (新収書) | 300タイトル   |
|                  | 300枚      |
- (ウ) 貸出数
- |                       |             |
|-----------------------|-------------|
| ● カセットテープ             | 10タイトル      |
|                       | 30巻         |
| ● CD図書                | 9,400タイトル   |
| (内 他館借受)              | (5,700タイトル) |
| ● シネマ・デイジー (含む 音声ガイド) | 500タイトル     |

● CD雑誌	4,000	タイトル
(エ) デイジー図書コンテンツダウンロード提供		
● メモリーメディア	3,000	タイトル
● オンラインサービス	300	タイトル
(オ) 点字データコンテンツダウンロード提供		
● メモリーメディア	10	タイトル
⑤ レファレンスサービス情報提供件数	300	件
(2) 資料製作		
① 点字図書の製作数		
(ア) 委託製作数	25	タイトル
	125	冊
(イ) 委託外製作数	15	タイトル
	75	冊
② 録音図書の製作数		
(ア) 委託製作数	40	タイトル
音訳 デイジー編集	80	タイトル
(イ) 委託外製作数	40	タイトル
③ シネマ・デイジー（音声ガイド）の製作数		
(ア) 委託製作数	5	タイトル
(イ) 外部委託製作数	15	タイトル
④ プライベートサービス		
(ア) 点字図書	10	タイトル
(イ) 音声デイジー・テキストデイジー等	10	タイトル
(3) ボランティアの養成		
① 点訳ボランティア連絡会		
開催回数	2	回
② 点訳ボランティアスキルアップ研修会		
開催回数	3	回
③ 音訳ボランティア養成講座		
開催回数	17	回
④ 音訳ボランティア連絡会		
開催回数	2	回
④ ICTボランティア団体との連絡会	1	回
(4) 訓練事業の取り組み		
① 訓練者数	45	名

	(内 新規訓練者数)	15 名
	訓練回数	450 回
内訳 (複数提供あり)		
	歩行訓練	20 名・・・200 回
	パソコン訓練	5 名・・・50 回
	ICT 訓練	10 名・・・70 回
	点字訓練	2 名・・・30 回
	生活訓練	8 名・・・100 回

③	相談者数	230 名
	相談回数	550 回
内訳 (複数提供あり)		
	歩行相談	70 名・・・170 回
	パソコン相談	30 名・・・80 回
	ICT 相談	30 名・・・100 回
	生活相談	100 名・・・200 回

③ 訓練生交流会 開催数 2 回

④ 訓練生屋外交流会 開催数 1 回

⑤ 用具の展示と斡旋 展示点数 360 点  
斡旋点数 1,200 点

## (5) 啓発普及

### ① 事業報告会の開催

センター事業説明会 6 月 1 回

### ② イベントの開催

- 音声ガイド付きDVD映画体験上映会 毎月2回開催 24 回
- 歴史的音源を聴く会「れきおんクラブ」奇数月開催 6 回
- 「CDで聴くクラシック音楽講座」偶数月の土曜日に開催 6 回
- チャレンジド・ヨガ教室 2月、8月を除き毎月1回  
午前・午後の2クラス開催 10 回
- 出張チャレンジド・ヨガ教室 (高津区2回、麻生区2回) 4 回
- 音楽コンサート・落語会など 5月、12月、2月 3 回
- 図書利用者交流会 (読書会など) 6月、1月 2 回
- 機器体験会 1 回
- スマートフォンアプリの音声ガイドを体験するDVD映画上映会 1 回

### ③ 広報誌の発行

- ぶっくがいで (偶数月) 6 回
  - メールマガジン「アイ eye」(2回/月) 24 回
  - 音声版メールマガジン「アイ eye」(奇数月) 6 回
- \*メールマガジン『アイ eye』の2か月分を再編集して合成音声化したもの